

2020年6月20日

地域の皆様

南生協病院の新型コロナウイルス感染症対応状況について

総合病院南生協病院

院長 長江 浩幸

平素より当院との地域連携にご協力いただき、心より御礼申し上げます。
当院での新型コロナウイルス感染症の対応状況についてご報告いたします。

2月29日に当院に肺炎として入院中の患者様が新型コロナウイルス陽性と判明しました。その後、個室に入院中の3人の感染が明らかになりました。いずれも名古屋市南部の介護事業所クラスターに端を発する市中感染の患者様でした。新型コロナウイルス感染陽性患者様は最後の一人が3月23日に当院から転院され、その後、外来・入院患者様で新たな新型コロナ陽性者は認めていません。また、2月の一連の対応から現在に至るまで、病院内での感染予防策を整備した結果、職員・患者様への院内感染は起きていません。

現在、当院では来院患者様全員の検温と問診により、感染が疑われる患者様は通常の受診時とはエリアを分け、感染の心配なく受診いただける環境を整備しています。

今後発生が予想されている第二波、第三波にも備えた上で、いつでも安心して受診していただける地域の急性期病院としての役割を果たしていく所存です。

今後ともよろしくお願い申し上げます。